

第19期第5回常任理事会議事録

日時 昭和52年3月29日 14.00～17.00

場所 東京管区気象台会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 内田, 河村, 門脇, 立平, 松本, 股野

報告

- 〔報告〕 1. 3月7日, 地球化学研究協会理事長から, 1977年度学術賞「地球化学協会三宅賞」の受賞候補者の推薦依頼がきた(メ切9月18日).
2. 3月23日, 当学会関西支部から例会講演要旨集(第6号)が送られてきた.

〔天気〕 論文は順調に集まってきている. 新しい企画をたて, 従来の会員の広場(半頁)に代わり, 2頁位に拡大して自由に会員に投稿して貰うようにする, 会員の意見交換の場としたい.

〔南極〕 越冬隊が帰ってきたので紹介記事を依頼してある.

〔長期計画〕 第2回の委員会を開催, 11年前に出された資料を読んで検討している. 委員会の議事録, 変わっている点を“天気”にのせたい.

〔教育と普及〕 “天気”に10頁増頁して貰い, 内容は, 新しく高校生でも読める程度のものを掲載したい. そして来年の夏季大学講座のテキストに利用したい. “天気予報”, “雲と雨”について執筆を依頼してあり, また, 雲の写真のとり方, 南極の気象報告等も考慮している.
夏季大学の3日目の午後, “教育問題”について討論を予定している. 話題提供は, 島貫隆会員, 浅井富雄会員をお願いしてある.

議題 1. 春季大会の準備について

理事長のあいさつに特に取上げる点を次回までに出して貰う.

2. 学会賞, 藤原賞の受賞候補者の推薦について
神山担当理事からの選考委員会の結果報告(欠席のため文書による)のなかで, 推薦依頼方法に不備があったため, 改めて学会賞, 藤原賞の受賞者に推薦依頼を行なうことにするので, 秋に受賞を延ばすのが望ましいとの提案がされた.

これに対し討議した結果, 受賞者選定規定では総会において贈呈するとなっているので早急に候補者募集を行なって春の総会に贈呈できるよう努力して貰う. このことを理事長から神山担当理事に伝え善後策を講じて貰うことにした.

3. 委任状の収入印紙について

他の学会で税務署から大会等の委任状に収入印紙(現在50円)を貼付するよう指摘されたとの報告が入ったので, 当学会でも来年の大会の時の委任状には考慮する必要があることを了承.

4. その他

(1) 風のシンポジウムの運営委員について
気象研究所物理気象研究部の花房龍男会員に小平理事が交渉する.

(2) 自然災害科学総合シンポジウムの後援を承認.

承認事項: 山口乙彦ほか16名の新入会員を承認.

正誤表(下記の通り誤植がありましたので, お詫びして訂正します)

巻号	ページ	行	誤	正
24.2	124	新入会員4380	高松地方気象台	日本気象協会 高松支部